

グループ名	会議・委員会名	役職名	担当者名					
北陸信越地区新潟ブロック協議会	Go for ASPAC委員会	副委員長	伊藤 漢珠					
事業名	ASPAC新潟大会に向けたブロック連携			公益事業番号				
開催日時		開催場所	参加人数				事業予算	
2025年06月14日(土) 21:00～23:00		モンゴル ウランパートル2025 JCI ASPACウランパートル大会 ジャパンナイト会場名: National Amusement Park	対内	17名	対外	500名以上名 合計	500名以上名	245,248円

テーマ	ASPACウランパートルにて新潟の魅力を発信し2026 JCI ASPAC新潟大会へ繋げる
-----	---

事業内容(200字)	希望あふれる理想を描き 変えたのだと誇れる未来へ に向けた内容の精査(200字)
2026 JCI ASPAC新潟大会に向けて、アジア太平洋地域からの来訪メンバー及び関係者に対し、周遊観光や地域名産品の購入への意欲を高めるために、ASPACウランパートル大会にて新潟県の魅力を発信し、新潟県全体への経済効果を波及させます。それによってメンバー及び関係者のASPAC新潟大会への参加意欲と新潟県の魅力の知名度向上の機会を創出します。	2026 JCI ASPAC新潟大会に向け、海外メンバーを中心に新潟の魅力を広報します。新潟の魅力として、日本酒を取り上げ、来場者に日本酒を試飲してもらい新潟への魅力を感じてもらいます。また、新潟の和服の文化に触れてもらう一環で浴衣の体験を行います。さらにポスター掲示や英語のパンフレットを配布します。それらの発信を通じて新潟に興味を持ってもらい来年の2026 JCI ASPAC新潟大会への参加促進につなげり事業を行います。
外部出席者・経歴及びJCとの関わり(300字)	希望あふれる理想を描き 変えたのだと誇れる未来へ に向けた結果報告(400字)
	本年度のジャパンナイトでは、「新潟の魅力を世界へ届ける」という想いのもと、委員会メンバー8名に加え、役員やブロック内協力者10名と共に現地で運営を行いました。会場には数え切れないほど多くの参加者が訪れ、新潟を象徴するコンテンツである日本酒と着物体験、パンフレット配布を通じて、多くの人々に新潟を感じていただくことができました。国内外のメンバーに提供した日本酒はとくに好評で、国内の参加者からは「新潟のお酒を購入したい」という声も寄せられ、地域ブランドとしての日本酒の価値を再認識する機会となりました。海外参加者には「ライスワイン」という表現で親しみやすさを伝え、好印象を残すことができました。一方で、着物体験においては予定していた法被の企画が実施されなかったことが反省点として挙げられます。多くのメンバーが関わり、準備から確認作業まで分担する必要性を改めて認識しました。浴衣体験は後半にかけて大きな盛り上がりを見せ、海外の参加者にも深い感動を与える文化体験となりました。パンフレット配布に関しては会場の混雑により直接的な対話の機会は限られましたが、2026年に開催されるASPAC新潟大会の周知を行い、日本語と外国語版を合わせて、用意した分をすべて配布することができました。ただし、体験型コンテンツに比べてパンフレット配布単体での魅力発信は限定的であることから、今後はより効果的な方法で体験価値を最大化する必要があると感じています。アンケートは目標500件に対し281件の回収となり、回収率に課題が残りましたが、回答者の評価は平均4.8と非常に高く、内容への満足度がうかがえました。回収数を高めるためには、専属スタッフによる促進や体験直後の声かけが必要であることが明確になりました。今回の活動を通じて、新潟の魅力を国内外に発信する確かな手応えと課題が浮き彫りとなりました。我々はこの経験を糧に、希望溢れる未来へと歩みを進め、「変えたのだと誇れる」次なる一歩につなげてまいります。

その他提出物

